

藤枝の文学者三人展

村越化石・藤枝静男・小川国夫

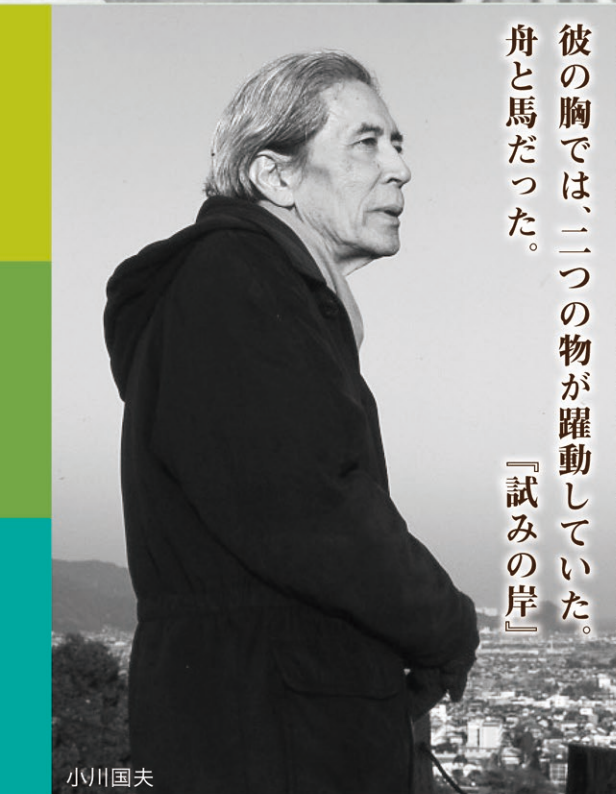


望玉郷の
目覚む
八十八夜かな
よき里によき人らが住み

茶が咲けり

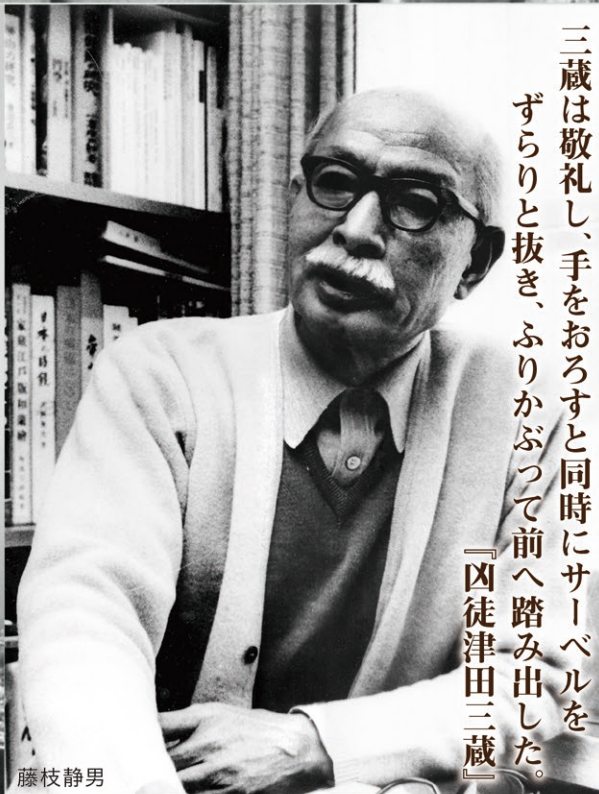
『蛍袋』

村越化石



彼の胸では、二つの物が躍動していた。
舟と馬だった。
『試みの岸』

小川国夫



三蔵は敬礼し、手をおろすと同時にサーベルを
ずらりと抜き、ふりかぶって前へ踏み出した。
『凶徒津田三蔵』

藤枝静男

2022
4/2(土) ▶ 5/29(日)

同時開催

日本の鉄道開業150周年博物館企画展

「静岡の鉄道展」

さあ、静岡県内の鉄道旅にでかけよう!

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)

TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 藤枝市郷土博物館・文学館

Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp

館ホームページ



休館日：月曜日、5月6日(金) ※藤まつり期間中(4/16~5/5)は無休。

開館時間：9：00-17：00

入館料：大人(一般)200円、(団体20名以上)160円

中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方は無料

—村越化石・藤枝静男・小川国夫—

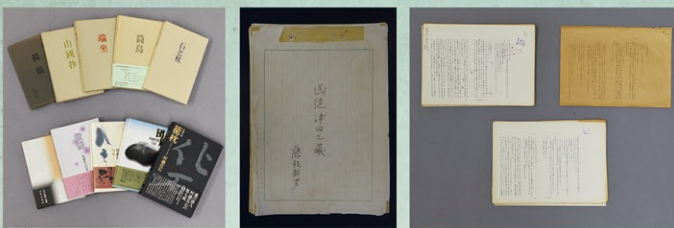
藤枝に生まれ育ち、文学界に大きな功績を残した3人の文学者—村越化石・藤枝静男・小川国夫—の事績を取り上げる展示会を開催します。

今年は化石の生誕から100年の記念すべき年です。本展では化石の句の中から代表作約50句を厳選して、市内在住の書家・望月心雲氏に書き起こしていただいた書で紹介。化石が句に込めた心情や望郷の思い、彼の生涯について知ることができる機会とします。

また、今年は大津事件(1891年)を題材とした藤枝静男の歴史小説『愛国者たち』の出版(1972年)から50周年に当たります。同事件を扱った『凶徒津田三蔵』とともに自筆原稿や蓮華寺池を描いた油彩画などを展示します。

さらに、本年は小川国夫が故郷・大井川流域を舞台にした大作『試みの岸』三部作の出版(1972年)から50周年です。『試みの岸』の校正ゲラや『静南村』の限定本などの展示を通して、『試みの岸』三部作の世界観を紹介します。黒馬「アオ」の物語に触れてみましょう。

本展を通して、藤枝に生まれ育った三人の文学者が残した足跡と作品世界を知っていただき、文学の香り高い藤枝を感じていただければ幸いです。



村越化石の句集 全10冊 『凶徒津田三蔵』自筆原稿 『試みの岸』三部作の校正ゲラ

むらこしかせき

村越化石(1922~2014)

KASEKI MURAKOSHI

志太郡朝比奈村新舟(現在の藤枝市岡部町新舟)生まれ。16歳のときにハンセン病に罹っていたことが発覚し、旧制志太中(現・藤枝東高校)を中退、離郷する。1941年、群馬県の国立療養所・栗生楽泉園に入所する。その後俳句を志し、1949年に大野林火の『冬雁』に感銘を受け、師事する。1962年に初の句集『獨眼』を刊行し、その後1991年には紫綬褒章を授与される。蛇笏賞、山本健吉賞など受賞歴多数。師林火にハンセン病文学の三本柱として小説の北条民雄・短歌の明石海人・俳句の村越化石と称された。

ふじえだしずお

藤枝静男(1908-1993)

SHIZUO FUJIEDA

藤枝町市部(現在の藤枝市本町)生まれ。浜松で眼科医として働く傍ら1947年、39歳で処女作『路』を発表し、作家人生をスタートした。既存の私小説の枠に囚われない新たな私小説の形が高い評価を受けた。3度芥川賞候補に挙がったほか、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞など数々の受賞歴がある。藤枝静男の作品の中には藤枝が舞台になる作品も多く、特に大正〜昭和初期の藤枝の町の様子を叙述している。代表作に『路』『愛国者たち』『田紳有楽』などがある。

おがわくに

小川国夫(1927-2008)

KUNIO OGAWA

藤枝町長楽寺(現在の藤枝市本町)生まれ。自らを「枝っ子」と称して、藤枝市で生涯執筆活動を行い、藤枝が舞台になる作品を数多く残した。「内向の世代」を代表する作家と称され、1986年に川端康成文学賞、1994年に伊藤整文学賞、1999年に読売文学賞小説賞、2000年に日本芸術院賞を受賞。2005年には、国の荣誉機関である日本芸術院の会員となった。代表作に『逸民』『悲しみの港』『ハシッシン・ギャング』などがある。

企画展イベント

※参加には事前のお申し込みが必要なイベントもあります。TEL・FAX・メールにて郷土博物館へお申し込みください(申込順)。
※コロナウイルス感染状況によっては中止または延期とさせていただきます。事前に当館ホームページをご確認ください。

村越化石生誕100周年記念講演会 「化石の人生～俳句の鑑賞を中心に～」

村越化石と親交があり、大野林火に師事した講師が、化石の残した俳句の鑑賞を通して彼の人生について解説します。



日時…5/8(日) 14:00~15:30

講師…関森勝夫氏(静岡県立大学名誉教授 俳誌「蜻蛉」主宰)

会場…文学館講座学習室

定員…50名

受講料…300円(中学生以下無料)

申込…電話・メール・FAXで、郷土博物館・文学館まで

「逸民忌」

小川国夫の命日(4月8日)「逸民忌」に合わせ、母校・藤枝東高校の生徒が小川の名作を朗読します。



日時…4/10(日) 13:00~14:00

会場…文学館前広場(雨天時は博物館エントランスホール)

出演…藤枝東高校演劇部のみなさん

ゴールデンウィークイベント

街頭紙芝居と子ども縁日

名物紙芝居のおじさんが昔懐かしい紙芝居を披露します!懐かしい紙芝居とクイズ大会を楽しみましょう。



日時…5/3(火祝) 11:00~、13:00~、14:00~(各回30分)

※子ども縁日は 10:30~15:30

会場…博物館前広場(雨天時は館内ホール)

出演…三ツ沢グッチ(街頭紙芝居師)

参加費…無料

ギャラリートーク 「小川国夫・藤枝静男の人間像」

小川国夫や藤枝静男と交流のあった当館職員が、彼らのエピソードを交えて、作品世界を解説します。



日時…5/14(土)、5/28(土)

14:00~(1時間程度)

会場…文学館展示室

案内…澤本行央(元藤枝文学舎事務局長)

定員…各回30名

※入館者対象 ※申込み不要。直接会場へ。

特別グッズ販売 「小川漫画の缶バッジ10種類」

小川国夫が描いたユーモラスな絵を絵本作家ふくながじゅんぺいさんがデザインした缶バッジです。



会場…博物館エントランスの

ガチャガチャで販売

料金…1回200円 料金…全10種類

えほんとピアノとうた、 のびのびコンサート

絵本の朗読をピアノの伴奏でお贈りします。静岡の子どもの歌と母の日の歌をどうぞ一緒に。



山田美穂子さん

日時…5/4(水祝)

11:00~11:45、14:00~14:45

出演…ピアノ 松谷摩湖さん(藤枝市出身)

歌・朗読 山田美穂子さん(藤枝市在住)

会場…文学館講座学習室

※入館者対象(大人は要入館料)



松谷摩湖さん